

5. むすび

2014年9月に発生した御嶽山噴火で多数の犠牲者が出たことを踏まえ、このような災禍を繰り返さないようにしたいという国民の期待に後押しされ、新たな火山研究の推進と火山研究人材の育成を目指した本事業が始まった。本事業に対する国民の期待の大きさ、及びそれに伴う責任の重さは、本事業参加者の共通の認識であろうと思われる。本事業の成果を着実に上げることが本事業に係る研究者の大きな責務である。

本事業の開始が平成28年11月中旬であったことから、本報告書で記述した平成28年度の実施内容は、後年度の調査・研究の準備的な内容が多く、現在のところ国民の期待に十分には応えているとは見えないかもしれない。平成29年度にはこれまでの準備を活かし、一層成果を上げ、少しでも国民の期待に応えられるように努力する所存である。